

四、線の種類

〔斜線(セイヤ)〕……ななめになりし線をいふ。

〔單曲線(タンキョクセン)〕……一度まがつた線をいふ。

〔複曲線(フツキョクセン)〕……二度以上まがつた波のごとき線をいふ。

〔弧線(コウセン)〕ゆみのようになりし丸い線の一部をいふ。

〔並行線(ヘイコウセン)〕直線でも曲線でも二本以上の線がその間のすこしもちがはずに、ならんだ線をいふ、鏡道のレールの如きをいふ。

用紙

〔毛筆畫には畫用紙をよしとす、日本紙を用ふるときは、どうさびきをよしとす。〕

五、用具

筆

〔毛筆畫にははじめは眞書筆(マコトカ)を用ひ、進んで彩色(サイシ)をしたり濃淡(ノウタン)をほどこすに至つては水筆(スイヒツ)を用ふべし。〕

消ゴム

〔毛筆畫にも、鉛筆畫にもその下書をするときには、誤(アヤマ)を正すために、消(シヤ)ゴムを用意すべし。〕

圖

畫

六、練習

下書

〔下書(カキガヒ)は鉛筆をかるく用ひて、その大体の線より畫きはじめだんだんと細かなる所におよぶべし、例へば木の葉をかくにも、その周邊(マヅメ)を書き、後にその脈(ミキ)を書くべし、又二つ以上のものがあつて、一つの物が他の物のかけにかくれるときも、その全体を書きよく位置を定め、後にその入らざる線又はあやまりたる線はけすべし。〕

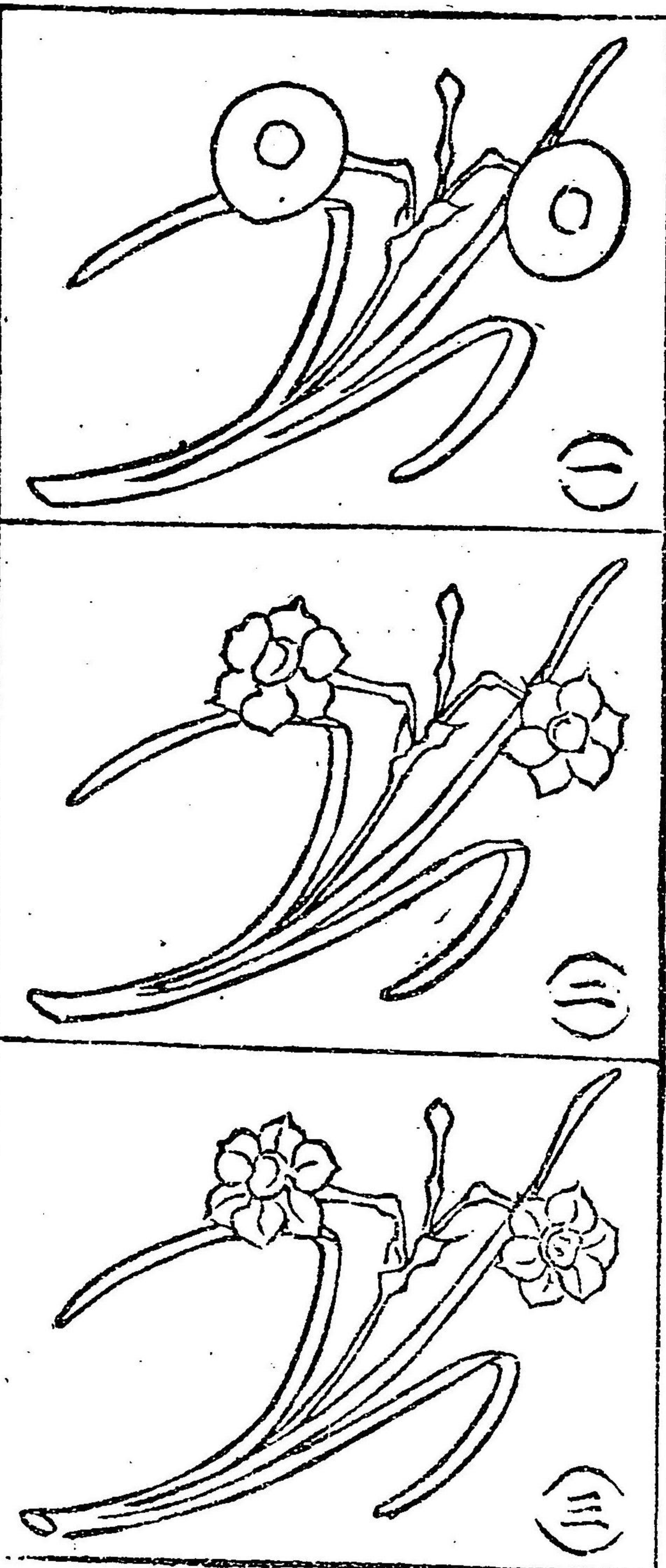
清書

〔下書をおはりて、これにてよしといふときに、左の上の方より書きはじめ、右の下の方に書きおはるを普通(ツツ)の順序とす、すでに清書しおはるときは、その墨のかはきし後に、下書の時の鉛筆の線をけし取るべし。〕

注意

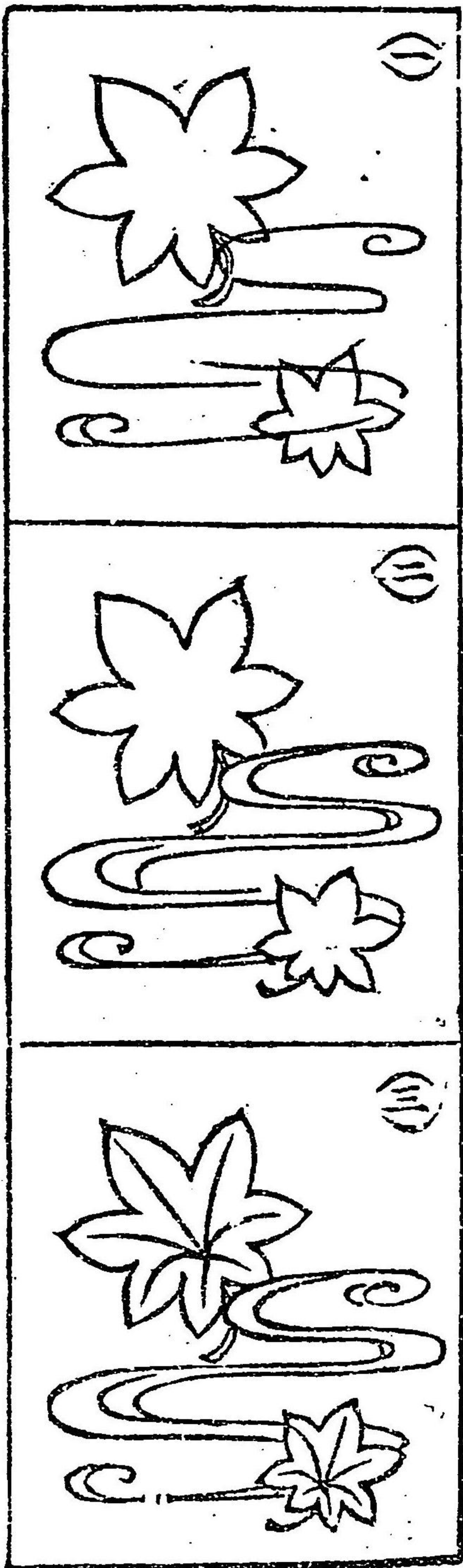
〔すべて圖畫は根氣(ネキ)をよくし、みだりに早く書くべからず勿論(モロシ)時間等にかかはりて、早く成るをつとむるときは、かならず手際のおしきものなり、畫は美術なることをわするべからず、またその用紙をけがし、および下書の線をけすとき紙を損(シヤ)じるが如きことあるべからず。〕

圖
七、毛筆
例畫一の



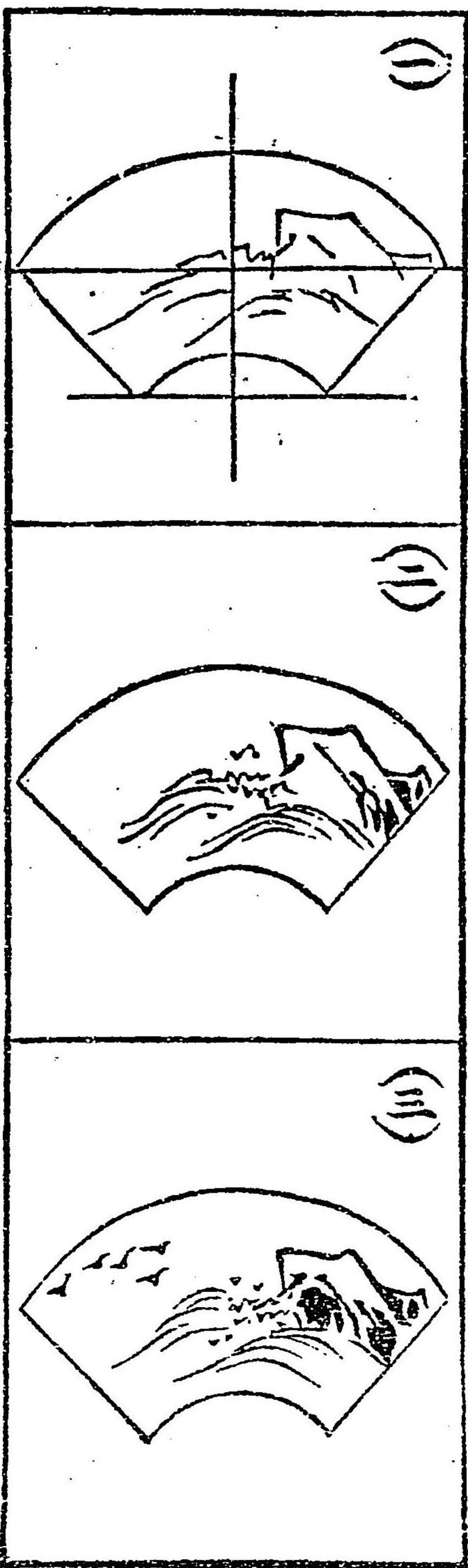
この圖は水仙のゑがきかたを示したるものにして(一)の如くその大體をうつし花、蕾(ミヅナ)葉などの位置を定め(二)によりて花の形状および部分の概略をゑがき直すべきところはこの場合によく直して、次に終りの(三)の如くに仕上(ル)ぐるものとす。

畫
八、毛筆
例畫二の



これは工夫畫の一例を示さんがために、毛筆畫手本第二十六圖によりて、紅葉に水をあしらへ龍田川の模様となせしものなり、すべて粗より密に入るべきが故に、先づ(一)の如く水の位置と紅葉の大形とをうつし、その恰好(ヨツ)を見はからつて(二)の如くに全影を下書きし素影のけするべきものはけづり、後に(三)の如く濃(コ)き墨にて清書すべきものとす。

九、鉛筆畫の例



この圖は鉛筆畫手本一の第十五圖と第二十圖とにより、扇形の中に一の模様を示さんことを工夫せしものにして、先づ(一)の如くに縦と横とおよび下の線とによりて外形をゑがき、その線によりて扇形の輪廓(かど)をつくり山水の模様の線形をゑがき(二)によりてその点線および素影をけづり、内部の模様をさはたせ(三)によりて全く清書し仕上げるものとす。

尋常
小學
體操科表解
第五學年
後期

體

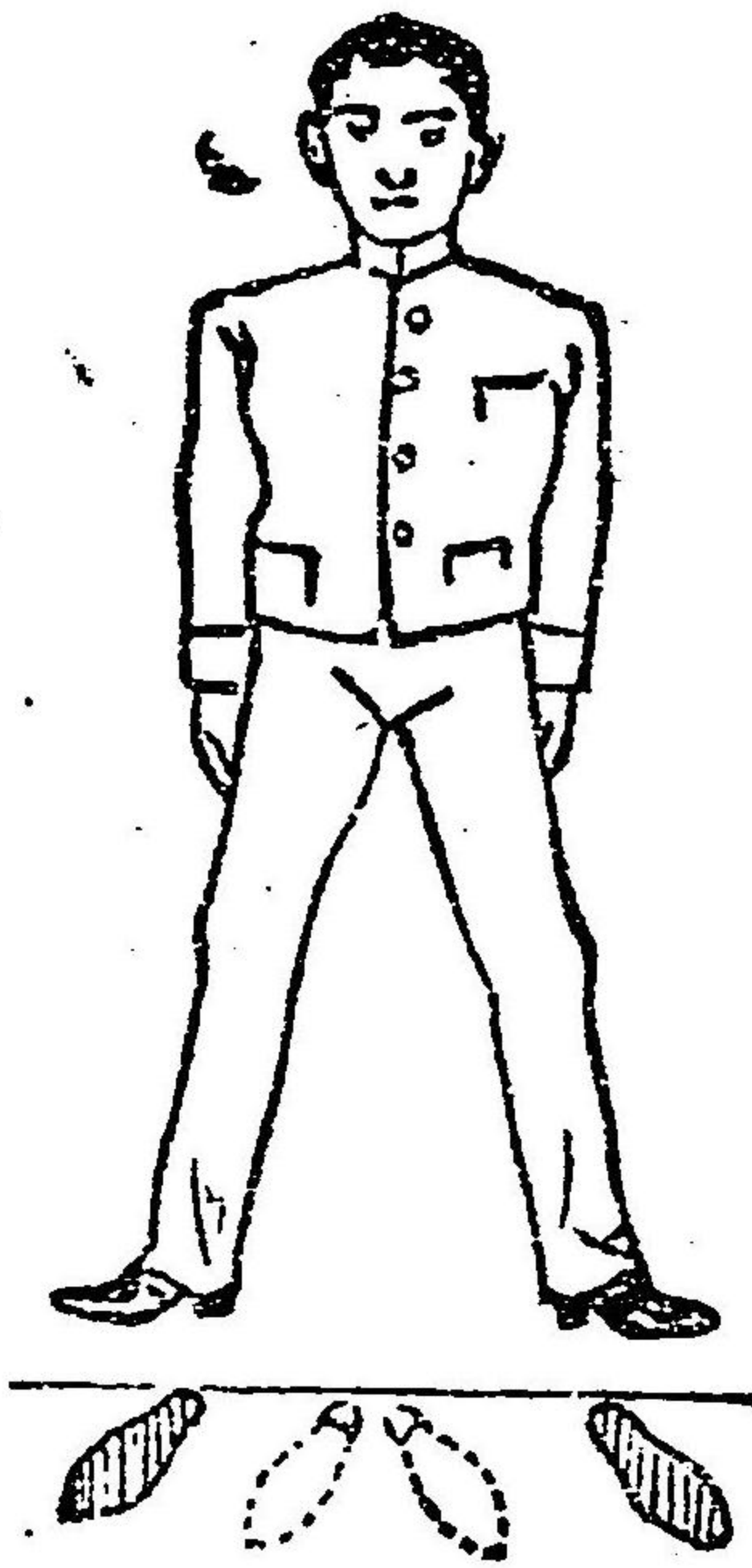
一、首及胸の運動

イ、上翼の開脚

号令

- 1 手を頸(カ)両手をわきの方よりあげ手の掌(カ)を頸の
にあげ(カ)うしろにし肘(カ)を肩と平らにす。
- 2 足を左(カ)にて左の足を半歩左にひらき(カ)にて
右に開(カ)右の足を半歩右にひらく(直れ)の号令と
もに直立姿勢となる。

姿勢 圖は2の
舉動を示
せるなり



ロ、上體の後屈

- 号令 1 上體をうしろにまげ1。2 體をおこせ1。
 - 3 始め：一、二。4 手をもとへ。5 脚をもとへ。
- 姿勢：開脚直立姿勢と同じ。

操

二、上肢の運動

ア、前肢の伸及

舉動(四舉)姿勢

- 号令 1 臂(カ)を前、上にはせ1。二、二……
- 2 なをれ。



解説

- 一、をやゆびを内にかるくにぎり両ひぢをかがめて胸(カ)のわきにとる。
- 二、両ひぢを平らにし前にはせし肩と水平にす、この時手のひらを合せむかはしむ。
- 三、前と反對(カ)に両ひぢをかがめ胸のわきに持ち來る手のひらをかるくにぎる。
- 四、両臂を上にはせし手のひらを開きて向はしむ。

體

三、全身の運動

イ、下翼鉤脚狀

号令

- 1 手を腰にわけし。
 - 2 左(右)膝(肘)をまげし。
 - 3 股(肘)を平(直)にわけし。
 - 4 脚を前におろせし。
- 〔上體をかかひることなく直立の姿勢を取る〕

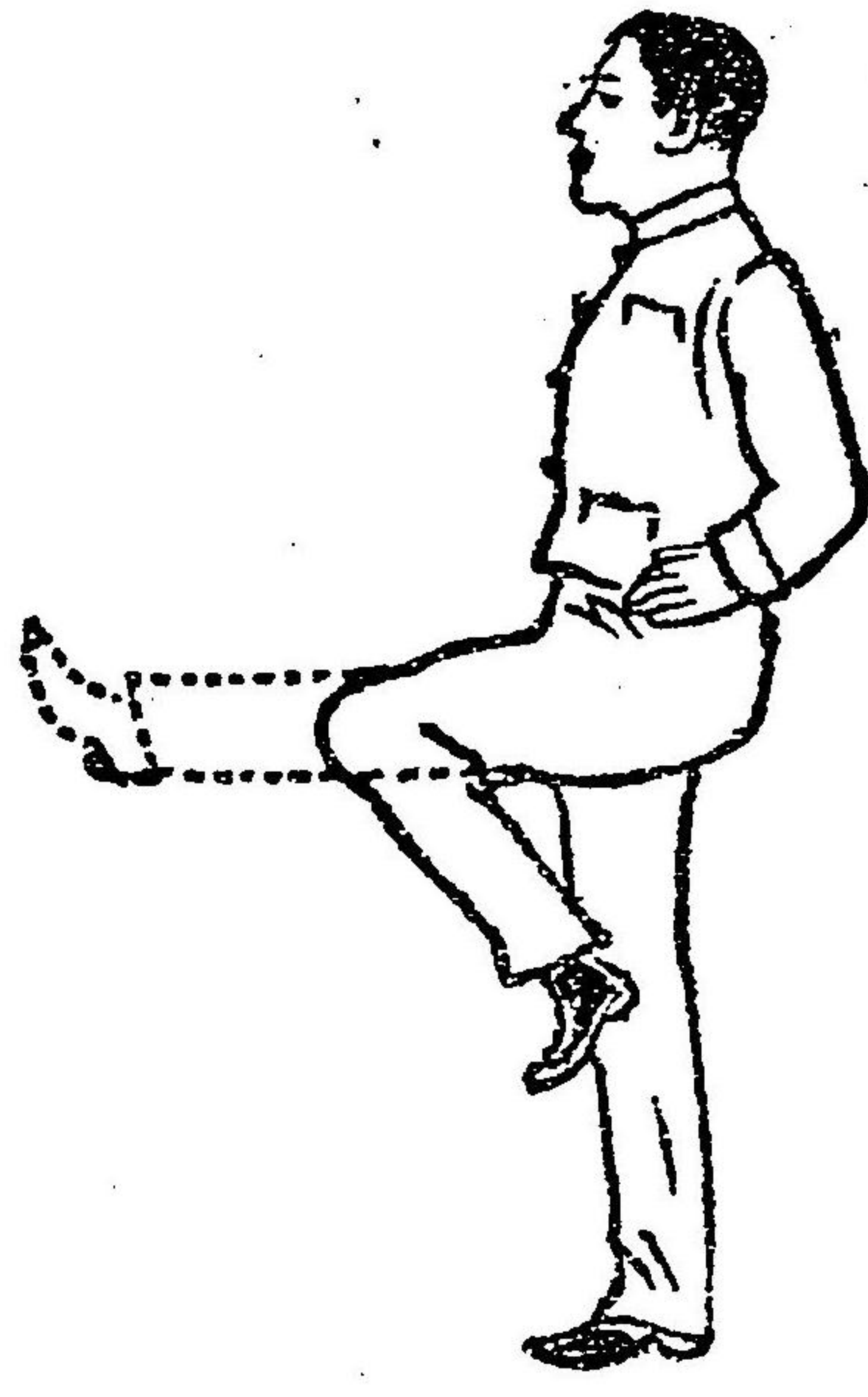
号令

- 1 脚を前におろせし。
- 2 脚をもとへし。
- 3 始めし。
- 4 脚をおろせし。

ロ、脚の前伸

舉動……

脚の前伸の姿勢



解説

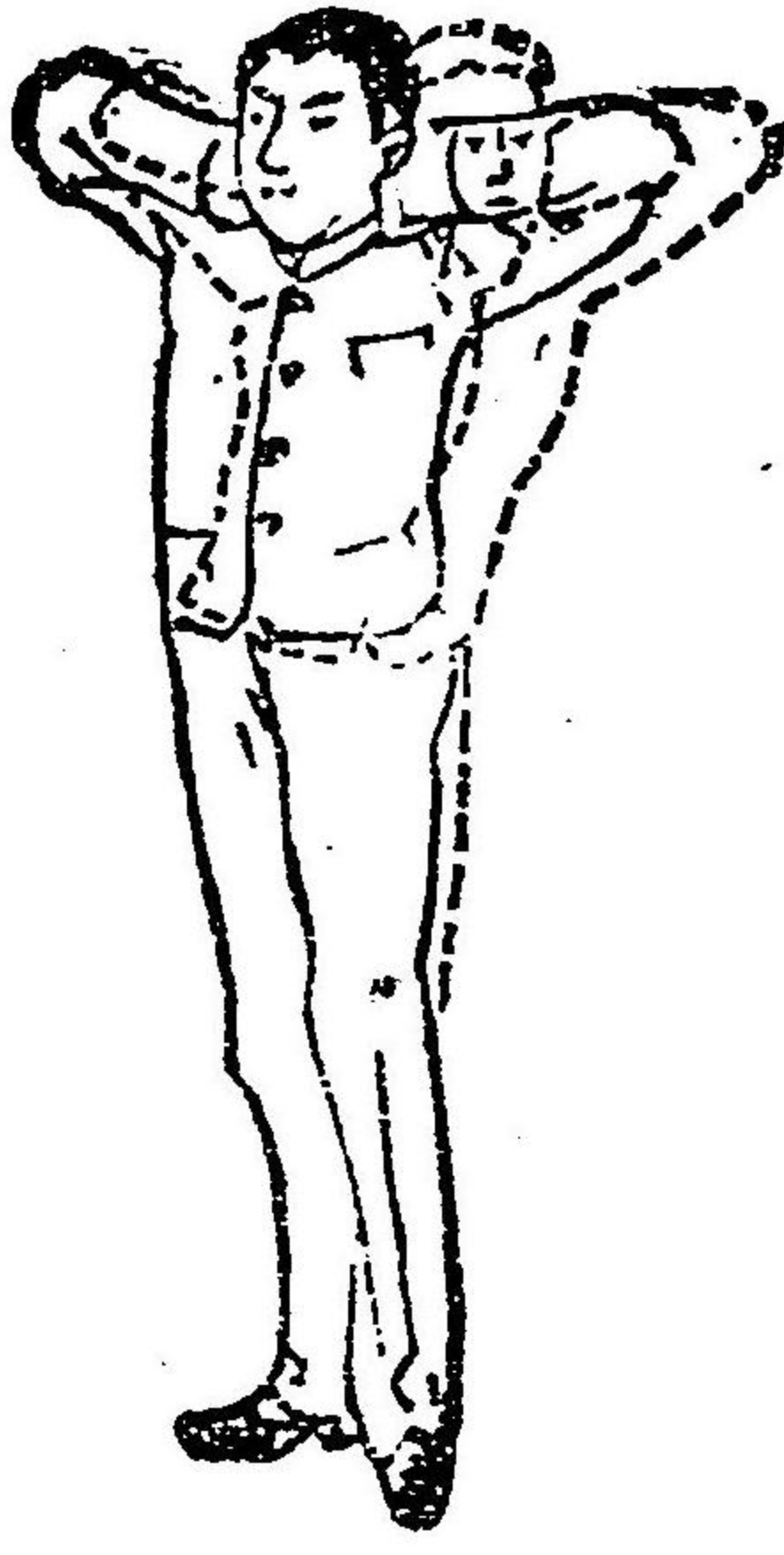
〔一にて下翼鉤脚狀、二にて直立姿勢にて左(右)の脚を前にのばし、左右とも号令に應じてかはるがはるにす

操

四、肩及背の運動
屈足斜出
膝の前の

舉動……

四舉の姿勢



解説

- 一、にて左(右)の膝をまげななめに前の方に一步ふみ出す、この時に一方の足はかがめず、上體は正直なるべし。
- 二、ふみ出したる足をあとにひき前の姿勢となる。
- 三、にて左右かはるがはるに行ふ。
- 四、にて両手をおろし直立姿勢となる。

注意……

手を頸にあぐること(一)の如くすべし。

号令

- 1 左(右)膝をまげ、足を斜(サナ)に前へ出せし。
- 2 足をもとへし。
- 3 始めし。
- 4 なをれし。

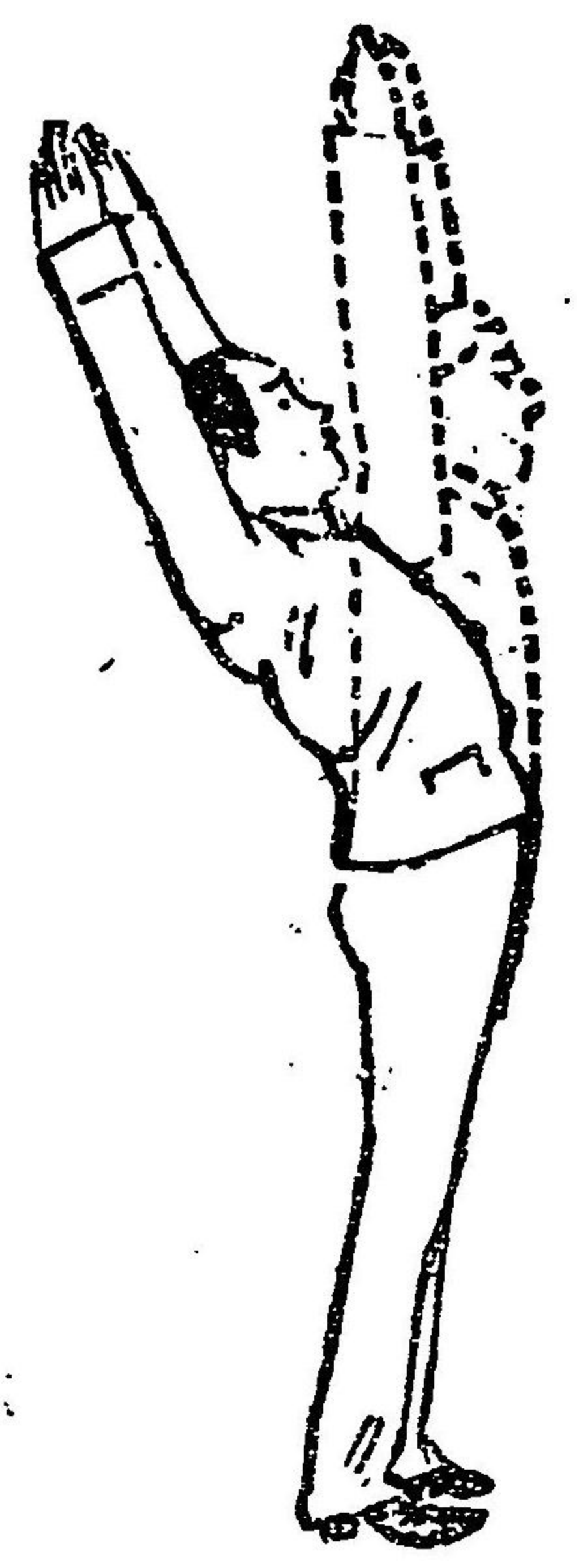
體 五、腰の運動

イ、臂の上伸

号令…1 ひぢを上へのばせ！
 舉動 { 1 掌(テ)をかくくにぎりひぢを屈め胸の上取る。
 2 両ひぢをのばし頭の上に直立せしむ。
 号令 { 1 上體をうしろにまげ！。 2 體をおこせ！。
 3 はじめ！。 4 なをれ。

ロ、上體の後屈

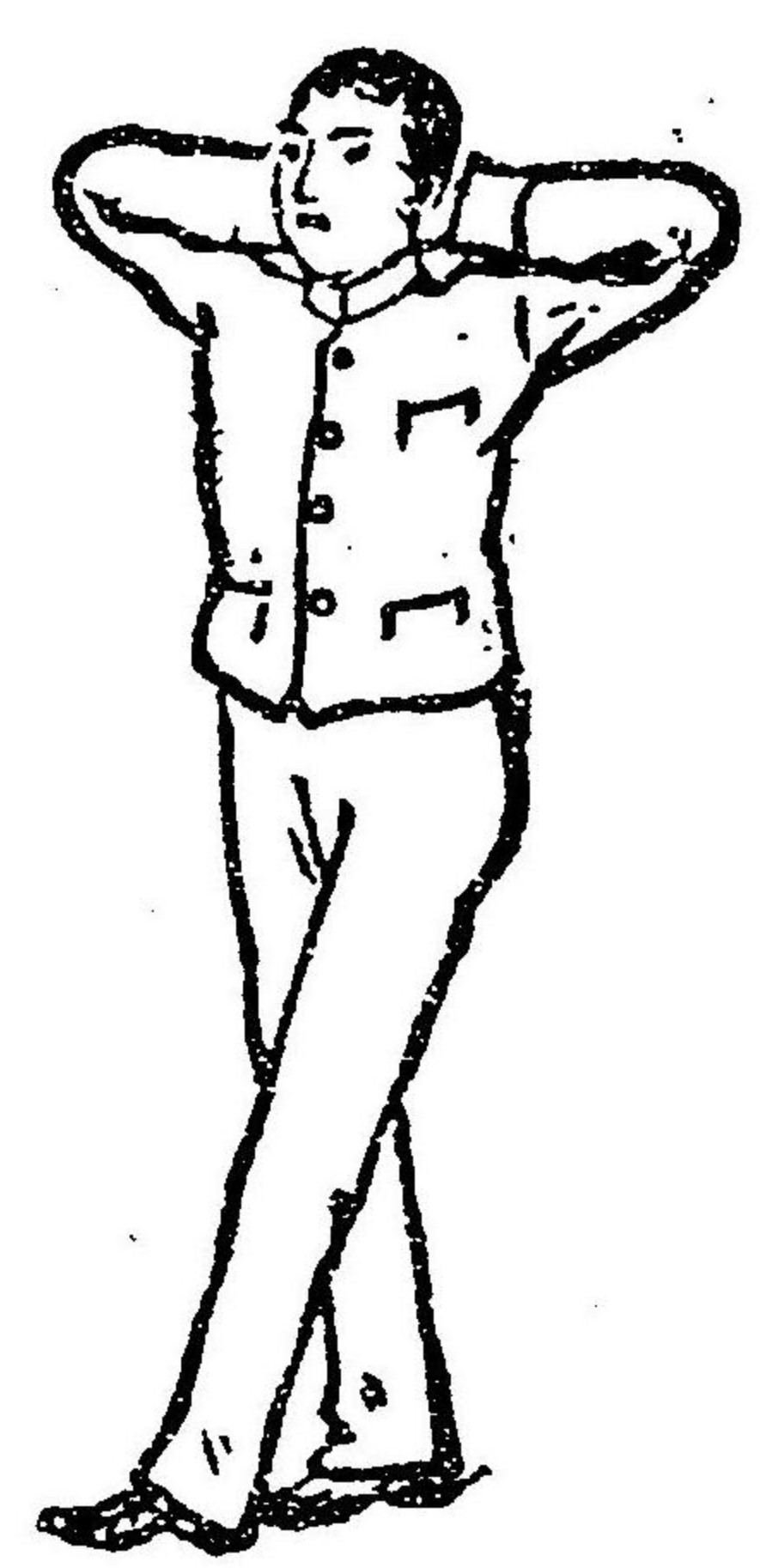
舉動…上伸の勢
 後屈の勢
 一にて上體をなるべくうしろにかがむ。脚はかがみどるべし。二にて體をおこす。三にて運動をつづく。四にて兩臂をおろし直立姿勢となる。



操 六、腰の運動

イ、上翼の歩状

号令 { 1 手を頸(前)に出せ！
 2 左(右)脚をななめに前に出せ！。
 舉動 { 上翼の姿勢
 歩状



ロ、捻體

号令 { 1 上體を左(右)にまはせ！。 一、二……やめ。
 2 なをれ。
 一にて上體をなるたけ左(右)にまはす。頭は上體と同じ方向にむける。
 二にて兩手をおろすと共に足をそろへて直立す。

明治二十四年九月一日印刷
 明治二十四年九月五日發行

不許複製

著者 教育學術研究會
 發行 武者 福田 藏
 大阪東區南久太郎四丁目八番六郎
 印刷 河野 圭藏
 大阪西區立賣堀北通貳丁目壹番地
 販賣 武者 田武 盛館
 大阪東區南久太郎町心齋橋西入
 販賣 坂江 文港 堂
 大阪南區竹屋町八幡筋角
 販賣 田中 青柳 堂
 大阪南區順慶町心齋橋北入
 販賣 富田 文陽 堂
 東京市神田區土代三丁目

定價
 尋常高等學堂 五元
 高等學堂 六元
 前年學期 一元
 全年學期 二元
 各冊一元

郵稅各冊一元 付金四錢 郵便切手代用 割増シ
 振替貯金口座 (大阪四九〇一 東京五一四九六番)
 拂込御注文ハ登記料貳錢増シ

此の高小學校教科書賣店に於ては各府縣の市郡町
 の小學校教科書賣店に於ては各府縣の市郡町
 候に御寄に買求めらるゝを乞

操

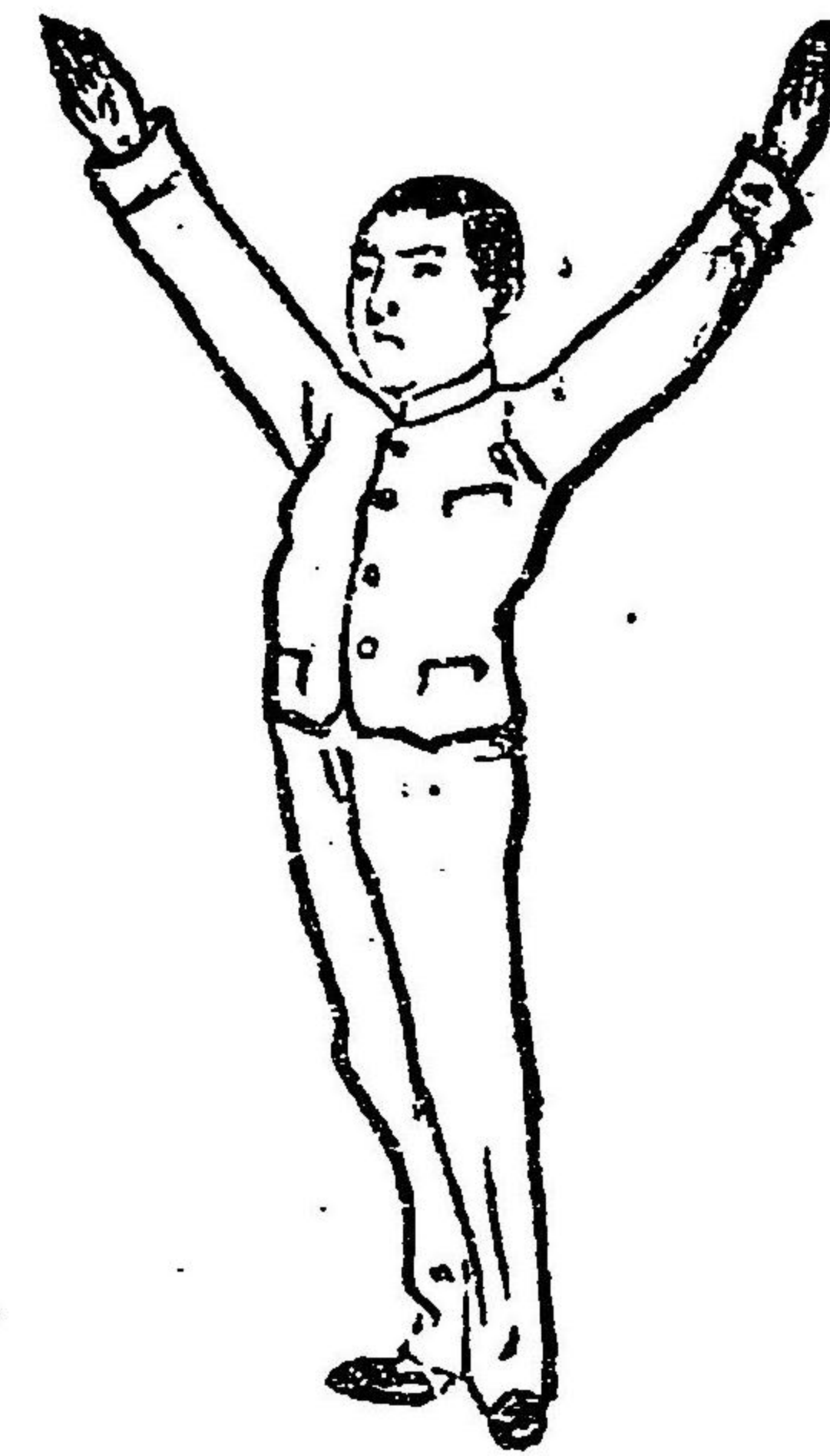
體

七、下の運動

膝、半屈

舉動 膝半屈 姿勢

解説 二にて兩踵(カカ)をのばすと同時に半ば膝をかかむ。



イ、伸臂直立

解説

号令… 臂をななめに上へのばせ！
 一に上にて手をのばせ！
 二に膝をのばせ！
 三ははじめ、一、二……やめ。
 四なをれ。

○體操科 第五學年……後

二〇〇

教育學術研究會著

尋常高等小學珠算新書

尋常第四、第五、第六學年用 各壹冊
高等第一、第二學年用 各壹冊

(全六部冊)

各學年一冊宛

定價各金八錢

郵稅各金貳錢

小學校で筆算と共に珠算をおしへらるることでありますが、この珠算は何でもないようであつて中中たやすいものではありません、殊に珠算の教授時間が少ないから、これを合点して上手にならうとするには、かねて稽古をせねばなりません、そこでこの書をあらはしたもので、外にもこの類の書物はたくさんありません、本書のように手をとつて教へると同じほどにはしいものはありません、諸君よく御覽になつて御評判をねがひます。

教育學術研究會著



理科圖解

尋常小學 第五學年用

第五學年用 各壹冊
第六學年用 各壹冊

中本形美本

石版木版密畫數十個挿入

定價各壹冊

金拾貳錢宛
郵稅金四錢宛

小學の理科の教授はすべて筆記によることになつてゐますが、かねて自分に調べておく書物がないと筆記することもむづかしく又先生に問ふ事もできません、此書は小學校の教授の順序によつて生徒から問をおこし先生が解答聞かせらるることを書き猶各課に圖を入れて實物について學ぶと同じようにしてあります、諸君がこの書によつて復習し又此書を讀んでおいて教を受られたならばよく解ることと信じます。

實地應用

教育學術研究會著

算術問題及解式

尋常第五、第六學年用各卷冊
高等第一、第二學年用

(全 部 四 冊)

各學年一冊宛

定價各金拾錢

郵稅各四錢

〔高等二學年用は尋常六學年用、高等三學年用は高等一學年用、
高等四學年用は高等二學年用、

本書は國定教科書の順序と割付方とに依つてひろく實地に應用すべき問題をあつめ
運算、答式および解義をわかりやすく解き示したものでただ復習に便利だといふば
かりでなく、國定教科書の問題も容易に解くことができます、幸に諸君の好評を願
ひます。

